様式第６号の11

学番	20	県立村松高等学校

令和４年度

学校自己評価表（報告）

学　校　運　営　計　画		
学校運営方針	1　勤務時間の適正な管理や業務の見直しを行い、時間外勤務の削減に努めます。 2　職員が相互に連携・協力して教育活動にあたり、教育目標の実現を目指します。 3　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めます。その際、ICT機器を効果的に活用しながら各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせる授業を行うとともに、適切に学習評価を行い、指導と評価の一体化を進めます。 4　様々な教育活動を通じて、集団や自己の生活上の課題を解決するとともに、人権意識を高め、自他を大切にする心を養います。 5　五泉特別支援学校村松分校開校にあたり、両校の諸活動の調整や交流計画の立案をします。 6　PTA、同窓会及び地域との連携・協力体制の充実に努めます。	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
【教務】 〈教務〉 ・適切な授業計画を立案、実施することができた。 ・自習時間の削減のため、授業交換等を推進し、授業の適切な遂行に努めた。 ・対面による式典を実施せず放送によるものに切り替えるなど、感染症拡大防止に努めた。 ・iPadが導入され、教育用クラウドサービスの利用に必要な様々な設定を行った。 〈渉外〉 ・事業計画通りに活動することはできなかったが、限られた事業の中でPTA役員の協力を得て活動することができた。 〈図書情報〉 ・「読書週間」を期末考査後に実施することで、生徒はゆとりを持って読書に取り組むことができた。 【進路指導】 ・2年生のインターンシップ、3年生の五泉市合同企業説明会を開催することはできなかったが、それぞれの代替となる行事（指導）によって職業意識の涵養を図ることができた。 ・昨年度は中止せざるを得なかった1年生の職場見学、上級学校見学を開催することができた。 ・学年やジョブコーディネーターと協力して、3年生の就職支援を行い、粘り強く取り組むことによって生徒の希望に沿う形での結果を得られた。 【生徒指導】 〈生徒指導〉 ・4月のネットトラブル防止講演会、6月の交通安全講話はPTA研修も兼ね、保護者にも参加を呼びかけた。 ・人権・同和教育推進委員会等と連携し、「障害のある人」「交際相手」の人権を尊重する授業を企画し、それぞれ2回ずつ実施した。 ・ネクタイ、リボンの未着用や、ジャージでの登校など、服装の乱れた生徒が一部にいた。 ・人間関係がうまく構築できず、トラブルになったり悩んだりした生徒が少なからずいた。 【生徒会】 ・感染症拡大を防止しながら、昨年度の状況に合わせた学校行事を開催することができた。 ・執行部が主体的、自主的な生徒会活動を運営できるように支援する。	○一人一人の個性を尊重し、伸ばしていく教育を推進するための学習指導の充実に努めます。	(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。 (2)指導計画とシラバスに基づいた適切な教育課程の運用に努めます。 (3)様々な研修会、研究授業を活用し、授業改善と研究に努めます。 (4)学校行事、式典等を適切に遂行します。
	○キャリア教育を充実させ、進路意識と職業意識の涵養を図り、進路希望達成に努めます。	(1)進路情報を適切に提供し、郷土愛を軸としたキャリア教育に取り組んで進路意識の啓発に努めます。 (2)就職・進学志望者への組織的な指導・支援に努めます。 (3)道徳教育の取組をキャリア教育とリンクさせ、個に応じた進路希望の確実な達成に努めます。
	○規律ある生活態度と規範意識を育て、安全教育の推進に努めます。	○基本的生活習慣を確立させ、服装指導、遅刻防止、いじめ防止とスマートフォン等(SNS利用を含む)の適切な利用等の指導に努めます。
	○充実した学校生活の実現、心身の健全な成長に努めます。	○生徒会と部活動を活性化させ、心身の健全な成長を図り、地域社会と連携して学校の魅力を高めるように努めます。
	○多様な生徒に適切な支援を行い、生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備に努めます。	(1)安全・安心な学校づくりに取り組みます。職員の研修に努めて、教育相談と特別支援教育、人権教育、同和教育と男女平等教育の積極的な実施に努めます。 (2)関係機関との連携・協力を深めるように努めます。
	○PTAや同窓会、地域との連携・協力体制の充実に努めます。	○教育活動の情報を家庭に提供するとともに、保護者会、学級懇談会、PTA総会等を活性化して、家庭や地域と連携した魅力ある学校づくりの推進に努めます。
	○ICTや図書館の活用を進め、適切な情報等の管理に努めます。	(1)ICTを活用した教育を推進し、各種研修等により教員の技量向上に努めます。 (2)図書館の活用を進め、読書を推奨するように努めます。 (3)HPの適切な更新を行い、引き続き情報管理に努めます。

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
○一人一人の個性を尊重し、伸ばしていく教育を推進するための学習指導の充実に努めます。	各教科 高校生として望ましい、主体的に探究を続けるための基本的な学習習慣の確立を図り、基礎学力の養成に努める。	教室の学習環境の維持に努め、学ぶ意欲を高めて、確かな学力を育成する教育を推進する。また、年間計画に基づいて、丁寧で分かりやすい授業を行う。	A	A	A
		生徒の進路希望にあわせ、必要に応じて個別の進学補習を実施する。また成績不振者には、個々の実態に即した補習や課題を工夫して実施する。	B		
		ICT教育に積極的に取り組む。生徒が取り組みやすい教材を工夫し、個々の教育ニーズに応じた課題を与える。	A		
		成績不振による転退学者を減らすよう適切な指導に努め、担任との情報交換を緊密に行う。	A		
	各学年 将来の進路目標を明確化させ、意欲を喚起して学習習慣を確立させる。また教室の学習環境・秩序の維持に努め、基礎学力の確実な定着を指導する。	生徒との個人面談を充実させ、生徒個人に合わせた生活・学習面における指導助言をする。生活リズムの確立を促し、学習習慣確立へ向けた支援を行う。	A	A	
		生徒が学習に集中できるよう、教室の学習環境の維持に努める。	A		
		保護者と緊密に連携し、学校の指導に協力を得るよう努める。	A		
		成績不振による転退学者を減らすよう適切な指導に努め、教科担当者との情報交換を緊密に行う。	B		
		探究意欲の向上や、幅広い知識・教養・思考力の獲得のために「読書週間」を実施し、読書を奨励する。また必要に応じて、新聞活用等の取組を行う。	A		
	教務 行事を含めた適切な授業計画を立案、実施する。授業研究や授業公開を通して日常の授業の改善を図る。	単位修得に必要な授業時数を確保した年間の授業計画をはじめ、各種指導計画を作成し、適切な時間割を編成する。	A	A	
		自習削減のため、適切な授業交換等を推進し、授業の適切な遂行と管理に努め、各教科の授業改善の取組を支援する。	A		
		各種式典等の行事を適切に実施する。	A		
		公開授業を行って、地域への情報発信に努める。	A		
	（図書情報） 図書、ICT機器等の資産管理を適切に行い、生徒や職員の利用拡大を図る。	「図書館だより」等を発行して図書情報を発信する。生徒が読みやすい図書、授業や小論文学習に役立つ図書を購入し、授業や進路指導に利用される図書館をめざし、生徒・職員の利用拡大を図る。	A	A	
		探究意欲の向上や、幅広い知識・教養・思考力の獲得のために「読書週間」を実施し、読書を奨励する。	A		

○キャリア教育を充実させ、進路意識と職業意識の涵養を図り、進路希望達成に努めます。	各学年 広い視野から将来を見据え、夢と志をもって進路を考えるように指導し、生徒の個々の適性に応じた進路探究のために、学年全体で細やかな支援指導を行う。	社会に関心を持たせ、将来の自己の目標を意識させる。その実現に向けた科目選択、進路探究に関わる指導を各種講演会、学年集会、LHR・「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」などを通じて行い、学年全体で指導する。	A	A	A
		生徒へのキャリア教育を推進する。ふるさとへの愛着と誇りを胸に、自己のあり方・生き方が確立できるように積極的に取り組む。	A		
		自己の適性・関心に基づき、将来を見通した進路選択ができるよう、生徒との個人面談および保護者会などを行い、指導・助言していく。	A		
	進路指導 各学年を調整、指導して入学から卒業までの3年間、一貫性のある進路指導を行い、生徒の進路実現を図る。	進路資料の整備、活用を進める。職員に適切な情報を提供して、面接指導等、効果的な進路指導が行えるようにする。生徒や保護者対象の進路講演会等、計画的にキャリア教育の機会を設け、進路目標を早期に設定できるようにする。	A	A	A
		ジョブコーディネーターを活用し、ハローワークや五泉市と連携して、地元企業との繋がりを強める。	A		
		1年生対象の職場見学、2年生対象のインターンシップや3年生対象の合同企業説明会等を通じて、早い段階から職業意識の涵養を図る。	A		
		校外での進学相談会やオープンキャンパスへの参加を促すことで、早期の進学意識涵養を図る。	A		
		郷土愛を軸にしたキャリア教育に取り組み、自己のあり方・生き方の確立を支援する。	B		
○規律ある生活態度と規範意識を育て、安全教育の推進に努めます。	各学年 保護者との連携のもとで、豊かな人間性や社会性の涵養に努め、高校生活を送る基礎となる基本的生活習慣の確立を図る。	時間厳守、挨拶励行、適切な身だしなみ等の指導を通じて、社会で生きる力を修得させる。松高生としての誇りを胸に、各自がより良い行動に努めて互いに高めあえるよう、意識喚起に努める。	B	A	A
		日常の声かけや生徒の観察、保護者との緊密な連携によって生徒の状況把握に努め、問題行動の未然防止に努める。	A		
		スマートフォン等の適切な使用と、SNSの適切な利用を指導する。	B		
		いじめ対策委員会と連携して、適切な調査を行って実態把握に努める。万一の事案発生時には、本校のいじめ防止基本方針に則り、適切に対処する。	A		
		貴重品や現金の管理を徹底させ、盗難防止に努める。	A		
	生徒指導 規律ある生活態度と規範意識を涵養し、交通安全など安全教育の推進に努める。また、いじめの予防と早期発見に努め、適切に対処する。	問題行動の未然防止のための取組に努める。また問題発生の場合には、学年や関係部門との緊密な連携のもとで迅速に報告、対応する。	A	A	
		全職員の理解と協力のもと、定期的な校内外巡視を行う。また、計画的に頭髪指導、服装指導を実行する。	A		
		いじめ対策委員会と連携して、適切な調査を行って実態把握に努める。万一の事案発生時には、本校のいじめ防止基本方針に則り、適切に対処する。	A		
		スマートフォン等の適切な使用と、SNSの適切な利用を指導する。	A		
		正しい自転車運転を指導する。交通講話やバイク実技講習等の交通安全教育に努める。	A		
		成年年齢の18歳引下げに対応し、公民科や家庭科と連携して消費者教育を実施し、契約に対する生徒の安全意識を啓発する。	A		
	いじめ防止対策委員会 いじめを防止し、早期発見に努め、適切に対応する。	「いじめ」の防止と早期解決のため、適切な調査を行って実態把握に努める。万一の事案発生時には、本校のいじめ防止基本方針に則り、適切に対処する。また、生徒自身が主体となったいじめ防止活動を推進し、いじめ防止に関する学校行事に保護者の参加を促すことで、保護者との連携も強化する。	A	A	
○充実した学校生活の実現、心身の健全な成長に努めます。	生徒会 生徒会活動と部活動の活性化と地域社会との連携を図る。	各種学校行事や部活動へ積極的に参加させ、活動を通じて自主性や協調性等の豊かな心と、逞しい心身の涵養を図り、地域と連携して学校の魅力を高める。	A	A	B
		部活動の振興と加入者の増加に努める。部活動の円滑な遂行のため必要な調整や、創部・廃部を適切に実施する。	B	B	
		地域の行事やボランティア活動に積極的に参加するように指導する。	B		
○多様な生徒に適切な支援を行い、生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備に努めます。	各学年 健康観察に努め、基本的生活習慣の確立を図る。	家庭と緊密に連携し、毎日の健康観察や、心理検査等の活用によって、生徒の心身の問題の早期発見に努め、必要な支援と指導を行う。	A	A	B
	生徒指導（保健環境） 安全・安心な学校づくりを進める。教育相談の充実、特別支援教育の推進の適切な実施に努める。	学年集会やLHRにおける保健指導（性教育、薬物乱用防止など）を通して、心身ともに健康な生活を送れる能力や態度を育成する。	A	B	
		身体測定や健康診断を適切に行う。また生徒の疾病予防と、AEDの管理をはじめ万一の救急体制と、適切な学習環境の整備に努める。	B		
		五泉特別支援学校村松分校と連携して、防災・避難訓練の改善に取り組む。	A		
		校内の美化と日常の清掃の徹底に向けた指導及び、清掃区分等の決定を適切に行う。環境消毒を実施する。	B		
	生徒支援委員会 特別支援が必要な生徒を正確に把握し、適切な支援を行い、必要な研修を実施する。	特別に支援が必要な生徒の把握に努め、各分掌や学年や担任、スクールカウンセラーや、必要に応じて外部の専門機関とともに適切な支援を行う。	A	B	
		バッテリーテスト・困り感アンケート等を実施する。要支援生徒との面談を行い、生徒情報交換会や職員研修会を開催して、職員の指導力向上に取り組む。	B		
	人権・同和教育推進委員会 人権に対する理解を深め、人権を尊重する態度と差別を見抜き、差別を許さない行動力を身につけさせる。	全教職員で各種研修会に積極的に参加し、職員の指導力を向上させ、教育活動に活かす。	A	A	
		同和教育を中核とした人権教育に積極的に取り組み、講演会やHR等での取り組みを通じて、生徒の人権意識の涵養を図る。部落出身者や障害者、性的マイノリティの人々等によりそい支援する「かかわる同和教育」を実践する。	A		
○PTAや同窓会、地域との連携・協力体制の充実に努めます。	教務（渉外） 生徒の育成に向けて、保護者の理解と支援を得るため、PTAと積極的に連携する。また同窓会及び地域社会とも強く連携する。	生徒の健全な育成と、学習活動支援のため、PTAと緊密に連携する。PTA活動の振興を図り、教員も積極的に参加する。	A	A	A
		同窓会及び地域と緊密に連携して、地域に貢献し、信頼される学校づくりを進めて、学校の教育活動を理解し、助力してもらうよう努める。	A		
○ICT教育や図書館活用の充実、適切な情報等の管理に努めます。	教務（図書情報） 図書、視聴覚機材、情報機材等の資産管理を適切に行い、生徒や職員の利用拡大を図る。	視聴覚機材や視聴覚教室、電子黒板の利用を調整し、関係機材・情報を提供してICT教育推進に努める。各種行事の運営に協力する。	A	A	
		校内で使用されるパソコン、プリンタ等を適切に管理し、その活用を支援する。	A		
成果	別紙		総合評価 A		

＜成果と課題＞
○教務
・適切な授業計画を立案、実施することができた。
・自習時間の削減のため、授業交換等を推進し、授業の適切な遂行に努めた。
・感染防止に努めながら、対面による式典を実施することができた。
・教育用クラウドサービス等の利用に必要な様々な設定を行った。
・ＰＴＡ役員の協力を得て徐々に活動を増やすことができた。
○進路指導
・３年ぶりに、２年生のインターンシップ、３年生の「五泉市合同企業説明会」を開催することができた。
・様々な進学希望先を持つ生徒達に個別に対応し、すべての進学希望を叶えた。
・学年やジョブコーディネーターと協力して就職支援を行い、早期に生徒の希望に添った就職先を決定することができた。
○生徒指導
・４月のネットトラブル防止講演会、7月の交通安全講話はＰＴＡ研修も兼ね、保護者も参加頂いた。
・人権・同和教育推進委員会等と連携し、「障がい者」「交際相手」の人権を尊重する授業を、それぞれ２回ずつ実施した。
・ネクタイ、リボンの未着用や、ジャージでの登校など、服装の乱れた生徒が一部にいた。
・人間関係がうまく構築できず、トラブルになったり悩んだりした生徒が少なからずいた。
○生徒会
・体育祭や文化祭の行事で保護者などの来校者を招いて実施できたこと。
・五泉特別支援学校との交流を持つことができた。（対面式、文化祭等）
○保健環境
・分校との合同防災避難訓練を無事に実施することができた。
・例年３学年に実施していた保健指導を、全校生徒を対象に実施したことで全校で理解を深めることができた。
○１学年
・基本的な学習習慣が身についた。
・教科担当者との緊密な情報交換を行い、適切な学習指導ができた。
・保護者と緊密に連携し、学校の指導に協力を得た。
○２学年
・多様な生徒に適切な支援をすることができた。
・生徒の個性を尊重しながらキャリア教育を充実させることができた。
○３学年
・考査前における計画実施表の取り組みを通して、計画や準備の大切さを伝えることで、欠点者を出すことなく卒業を迎えることができた。
・粘り強く指導することで、全員の希望進路実現を達成できた。
○国語
・話し合いなどのグループ活動などを取り入れ、思考・判断・表現力の養成に力を入れた。
・生徒の進路希望にあわせ、個別に小論文指導を行った。
・成績不振者には課題を出すなど、早い段階から学習支援を行い、年度末の成績不振者の数を減らすようにした。
・授業内での資料の提示、感想や意見の集約、作品発表などにＩＣＴ機器を活用し、生徒が興味を持って楽しく授業に取り組めるように工夫した。
○数学
・生徒の実態に合わせて、ていねいで分かりやすい授業を行うことができた。また、ＩＣＴ教材を活用して、生徒の学ぶ意欲を喚起した。
○理科
・教科書や問題集の基礎的・基本的内容の徹底理解に努めた。
・授業内容に即した書き込み式プリントを作成し、個々の能力に合わせて学習できるよう工夫した。
・言語能力や計算能力を著しく欠失している生徒が見られる。個々の能力を鑑み、多様な評価を試みた。
・新課程の評価について多角的に検討し、生徒を多方面から評価する一歩を踏み出した。
○英語
・粘り強く指導することで、平常の取組や課題提出の状況が改善し、望ましい学習習慣の形成に繋げることができた。
・わかる授業の実践を通して、検定受験に意欲的な生徒を生み出すことができた。
○保健体育
・体力の維持・向上を図るため長距離走を実施することができた。
○芸術
・生徒が意欲的に取り組み、作品作りに成果が見られた。
○家庭
・授業内容に関心を持たせるよう教材の工夫に努めた。
○情報
・実習を多く取り入れ、情報処理能力の向上に勤めた。
・１年生（新課程）の評価について、多様な評価を心がけ、様々な評価方法の実践に取り組んだ。